

# 新型コロナウイルス対策に3億400万円計上 市内小中学校全児童生徒にタブレットを配備

## 袋井市議会6月定例会報告

市議会6月定例会が6月1日から6月25日まで開催されました。初日に議員提出議案1件を可決、市長提出15議案は常任委員会や審査会を行い最終日に採決、いずれも可決となりました。また最終日に追加上程された一般会計補正予算（第4号）を可決し、16人の農業委員会委員任命に同意しました。



### 政務活動費交付に関する条例一部改正

コロナ対応のため議員の政務活動費を50%削減する手続きを進めるための改正です。加えて市議会は、各委員会の視察研修を中止とし、視察費も返上しました。

### R2年度一般会計補正予算（第3号）

5億2800万円追加し、総額449億6000万円です。

#### 歳入の主なもの

◇新型コロナウイルス対応地方創生交付金 1億6720万円余

◇指定寄付金 8100万円

#### コロナ感染症対策事業の内容は

◇小中学校感染症防止対策事業 542万円余

手指消毒液など感染症対策用資機材を購入

◇幼児教育施設感染症防止対策事業 1045万円余

公立・私立の全保育園、幼稚園、子ども園に手指消毒液など対策用資機材を購入。

◇公共施設、福祉施設衛生用品配備事業 8500万円

障がい者施設や介護施設等にマスクや消費用アルコールを継続配布します。

◇PCR検査センター設置運営事業 6700万円

袋井市、森町、磐田市が連携し設置。週2回、磐田市医師会、磐周医師会が交互に担当。実施期間は7月8月9月の3ヶ月間だけ。検査件数を抜本的に増やすことはできず、第2波への備えとしては不十分です。

◇図書館感染症防止対策事業 3000万円

安心して図書館の貸出ができるよう図書消毒機を購入します。

◇ふくいの心応援商品券発行事業 1億円

プレミアム率20%の商品券を市独自で発行。地元経済の活性化が目的です。スーパー、ドラッグストアでは使えません。

商品券の引換を増やすには、利用できる店舗数を増やすかにかかっています。

◇ふくいの心応援農産物応援事業 5000万円

袋井の主要農産物お茶やメロンの販売促進を図る目的でセットにして送付する事業に補助します。市民の負担は発送料等の経費分2千円で商品分5千円は市の負担です。

◇経済変動対策貸付利子補給事業 48000万円

県貸付資金の利子を市が一部補助します。

◇中小企業信用保証料補助事業 40000万円

経済変動対策等の信用保証料を全額補助

◇生活困窮者に対する食糧配布事業 1000万円

フードバンクが届くまで1週間も、その間、市が独自で緊急に食料を配布します。

◇住宅確保給付金給付事業1274万円余

休業等に伴う収入減少により、住居を失う恐れがある場合、原則3ヶ月まで住宅確保給付金を支給します。

◇生活困窮者光熱水費給付事業 10000万円

市独自に光熱水費相当3ヶ月分を給付します。

◇生活応援資金貸付事業 42000万円

失業等で収入が減少した世帯に一時的な生活資金として20万円まで貸付けます。

◇小中学校情報機器整備事業 11月までにJACの端末6720台導入

「国のギガスクール構想」実現の交付金を活用し、一人1台のタブレット配備を進めます。これまでに配備した12800台に加え、新たに6720台を導入します。

併せて各学校にWi-Fi環境を整備し、学習環境の充実を図ります。

20322万円余の予算計上とともに5年間の機器借り上げ料3億6400万円の債務負担行為補正をしました。

また、インターネット環境が整備されていない世帯へモバイルルーター等を貸し出す費用880万円も計上しました。

◇社会資本整備総合交付金の増額補正

（都市計画道路）諸井山の手線改築工事に1億5075万円余が、袋井駅南部拠点土地区画整理事業に80075万円が増額された事業進捗に充てられます。

◇R2年度一般会計補正予算（第4号）

73000万円追加し、総額450億2900万円です。

◇CVS親世帯臨時特別給付金事業給付

「コロナの影響で収入が減少するなど困難を抱えているひとり親世帯に1世帯5万円、第2子以降1人につき3万円を給付更に、家計が急変・収入減少の家庭には申請により1世帯5万円を追加給付します。

### 国民健康保険条例の一部改正

介護保険条例の一部改正

いずれも新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少した世帯に対する減免措置を遡って適用できるようにするための改正です。前年より事業収入が3割以上減少するなどで適用となります。

### 農業委員会委員の任命に同意

新たに任命された農業委員は、松田明久（豊沢）、木野浩之（川井）、永井英男（堀越）、石黒正幸（村松）、井口喜裕（太田）

永田勝美（太田）、西村淳子（大谷）、天野智康（友永）、村松恵美子（川合）、荻原克夫（山崎）、鈴木稔（沖山梨）、加藤元章（浅名）、金原純一郎（浅羽一色）、渥美敦子（富里）、石川智康（初越）、安間啓一（太郎助）の16人です。

高橋美博議員が全国市議会議長会の議員在職20年表彰を受賞、閉会日の本会議で伝達式が行われました。

意見書提案も実らず

共産党市議団は、「日米地位協定の抜本的見直しを求める意見書（案）」「消費税を含めた抜本的経済対策を求める意見書（案）」を提出しましたがいずれも全会一致ならず廃案となりました。

